

泉ヶ岳アウトドアスポーツ2009報告

昨年までのマウンテンバイクを中心とした大会が、マラソンを中心としたものに衣替えし開催時期も5月から7月となった「泉ヶ岳アウトドアスポーツ2009」、残念ながら二日間とも雨模様となりましたがSVからは延べ7名がボランティアとして参加しました。



仙台市近郊にあり、古くから山岳レジャーの場所として親しまれている「泉ヶ岳」。走ること、乗ること、歩くことを基本にした各種競技に約1,000人の参加がありました。

月日 / 7月18日(土)・19日(日)

場所 / 泉ヶ岳

主催 / 泉ヶ岳アウトドアスポーツ実行委員会

泉ヶ岳アウトドアフェスタ・ボランティア活動報告(1日目)

日時: 2009年7月18日 6:30 ~ 14:00

早朝6時半に、泉ヶ岳のロッジハウス前に集合。その後、全体ミーティング。担当別のリーダーを紹介され、担当別に打ち合わせ。私は『選手召集・タグ回収係』の担当となる。内容は、この日の競技である

【3時間エンデューロ(規定コースをマウンテンバイクで3時間何周回れるかを競う)】

に参加する選手の召集と、競技終了後にタグ(これに周回数を記録する)を回収するのが任務。

集合時から天候が悪く、濃霧で視界も悪かった。そして、9:00の競技開始後も視界不良・天候不良と

いう悪条件の下、選手は1周でも多く回ろうと一生懸命だった。それは、我々ボランティアを含むスタッフでも感じ取れた。

そして、12:00の競技終了後、タグを回収してから選手に「お疲れ様でした」と声を掛ける我々スタッフに、「ありがとう」という選手からの言葉。この何気ない会話であるが、何だか疲れがどこかに吹き飛んでしまい、自然とすがすがしい気持ちになった。

スポーツボランティア活動というのは、表面上だけではなかなかイメージしづらいものだが、実際に活動してみることで分かって頂けると思う。

Y・T

泉ヶ岳アウトドアフェスタ・ボランティア活動報告(2日目)

2日目はプロデュース石川弘樹選手の専門であるトレイルランニングのレースが行われました。ロングコースは1周20キロ程のコースを走るレースです。走るといっても山。スキー場をスタートし、ゲレンデを駆け上がり登山道へ、登山道のかもしかコース入口から下りゲレンデに戻ってくるコースなのです。

わたしは給水担当で水、VAAM,VAAMゼリーを給水所のテーブルに並べランナーを待ちました。この日も天気が悪く雨が降ったりやんだりの空模様でしたのでコース上はドロドロ、足を滑らし転倒した選手も多数見受けられ、それが過酷さを物語っていました。20キロというロードのハーフマラソン位ですので参加しているアスリートのひとたちは別人にみえました。

プロスポーツとは違いアスリートとわれわれとの距離が近い事でサポートしている実感が増した大会でした。(お疲れさまでした、助かりました)と活動の際のリーダーさんに声をかけられ、私もこの大会の運営に少しでも力になれたという満足感がたまりません。

H・W



上/ 眼下に仙台市街が



上/ 給水・給食活動



左/ 水のほかバナナ
饅頭などを提供



右/ リフトで机などを
荷揚げ